

小学校特別活動研究部

I 研究主題

学級活動(1)における児童の思考力を育成する教師のよりよい指導助言について

II 主題設定の理由

集団活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする実践的な自己の生き方について考えを深めるために、より一層、学級活動の充実が重視されている。

学級会を充実させ、児童の思考力を育成するためには、教師の的確な助言が必要である。学級活動(1)において、話合う価値のある議題の選定・話合うこと①②の設定・事後の振り返り・実践という一連の流れの中で、教師による的確な指導助言の在り方を研究する。

特に学級会場面での事前指導、本時、事後活動の中で、どのような展開をねらいとし、子どもたちの思考を深めるのか、話合いの3段階討議法(國學院大學教授 宮川八岐先生提唱)を取り入れ、教師の指導助言について主題として設定した。

学級として自分たちで決めた集団の活動目標を大切に、どのような活動を展開していくのか、子どもたちの自治的活動において、教師の指導を明確にする。自分たちの課題を踏まえ、よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話合い活動や、自分たちできまりをつくって守る活動を充実させたい。学級活動を通して、個性を伸長を図り、集団の一員としての自覚を深め、規範意識の育成をねらいとしていく。

III 研究の方法及び内容

1 授業研究

(1) 指導案検討、作成・研究授業

1人1回授業を公開し、指導案作成を行なう。課題を踏まえ、5回の研究授業・研究協議を実施する。

(2) 小学校特別活動専門研究部の授業参観及び合同研究協議

研究授業参観・研究協議・指導(國學院大學教授 宮川八岐先生)への参加

日時	研究授業者	議 題
6月	若狭小学校 深澤正人	みんなで楽しめる雨の日の過ごし方について決めよう
6月	清進小学校 田中まこと	1年生との交流会をしよう
7月	北野小学校 武田京子	夏祭りの計画を立てよう
7月	三ヶ島小学校 川口亜希子	ボールの使い方の約束を決めよう
9月	上新井小学校 中島 泉	運動会、みんなの力を合わせよう
11月	牛沼小学校 一水昌比呂	給食を作っている人に感謝しよう
11月	若松小学校 岩土陽裕	男女の交流を深めよう
12月	明峰小学校 玉置明子	卒業文集クラスページ(表紙+5 ページ)の具体的な内容を決めよう

(3) 研究協議と課題の検討

授業の反省と振り返り。話合い活動の内容、議題の決定方法などの検討。

IV 実践例

実践事例 ① 平成 24 年 6 月 27 日 所沢市立若狭小学校 4 年生学級活動 深澤正人

第 3 回 学級会活動計画 6 月 2 7 日水曜日 5 時間目			
ぎ だ い	みんなで楽しめる雨の日の過ごし方について決めよう		(ていあん者)
てい あ ん り ゆ う	① 今月のめあての「室内では静かに過ごそう」が守られていない。廊下を走り回っている友だちもいる。危ないしもっと良い過ごし方があるはずだ。 ② 雨の日はクラスで静かに過ごしたい。休み時間が長いので、クラスやグループで楽しく過ごしたい。係り活動や発表をして過ごしてみたい。 ③ そうすれば安全に静かに過ごせる。また活動を通してクラスの仲やグループの仲が良くなる。		
やく わ り	し 会		ノ ー ト 記 ろ く
	黒 板 記 ろ く		
め あ て	雨の日の過ごし方についての取組みや工夫を考えよう。		
話 合 い の 順 序		気 を つ け る こ と	指 導 上 の 留 意 点 （ ・ ） 評 価 （ ☆ ）

<p>1 始めの言葉</p> <p>2 歌・クラスの合言葉</p> <p>3 役わりしようかい</p> <p>4 ぎ題のたしかめ</p> <p>5 提案理由の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> みんなが集中するように、元気に言う。 クラスの合言葉を言う。 はっきり言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体が落ち着いてからはじめさせる。
	<p>提案理由…劇で行う⇒場面①廊下を走って危ない。 場面②教室でふざけてしま いケンカ 安全に静かに過ごしたい。活動を通してクラスの仲 やグループの仲が良くなる。</p>	<p>司会 スムーズに進められるように たくさんの人が発表できるように</p> <p>ノート 黒板に書いていることをしっかり写す</p> <p>黒板 意見をしっかり聞いて分かりやすく書</p>
<p>6 めあてのたしかめ</p> <p>7 話し合うことのた しかめ</p> <p>8 決まっていること のたしかめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大事なところに線を引いておく。 決まっていることを事前に掲示してお く。 	<p>☆自分の役割を進んで行うことができ る</p> <p>(関・意・態)</p>
<p>9 先生のお話</p> <p>10 話し合 い</p> <p>話し合うこと① (25分)</p>	<p>みんなで楽しめる雨の日の過ごし 方について決めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけたくさんの人に発表しても らう。 	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由の説明は、ポイントが分か りやすいように、キーワードを出し ながら話せるようにする。 準備時間の確認をして実践できるか どうかを意識して話し合えるよう にする。 友達のよいところに気づきながら、 話し合いが進められるように助言す る。 同じ人の発表が続くときは、他の人 にも意見を聞くように助言する。 自分の意見を言えるように、個々に 声をかけて励ます。 意見の付け加え、意見の変更の話し 方が出来ている子どもを賞賛する。 提案理由やめあてにそって発表でき る児童を積極的に賞賛し、話し合うこ とがずれないように意識させる。 意見が分かれたときは、提案理由や めあてにそっているか、また準備で きるかを確認する。
<p>① 意見を出し合う</p> <p>② 意見をしぼる</p> <p>③ 意見をまとめる</p>	<p>出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> トランプ・カルタ・将棋・ぬりえ大会・読み聞か せ 	
<p><話し合いのながれ></p> <p>①(10分)</p> <p>②(10分)→(15分)</p> <p>③(5分)</p> <p>話し合うこと② (5分) →できず</p>	<p>下ろされた意見</p> <p>将棋 ○新しいことにもチャレンジする。 ●ルールを知らない人がいるので楽し めない。</p> <p>ぬり絵大会 ●下絵をだれが準備するのか。 ●どうやって順位を決めるのかわから ない。</p> <p>曲作り ●日程的に難しい。</p> <p>オセロ ●少ない人数でしかできない。●道具の 不足</p>	
<p>11 決まったことの 発表</p> <p>12 ふりかえり</p> <p>13 先生のお話</p> <p>14 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> 意見が分かれたときは、注目マークを 使う。 意見が分かれたときは、ていあん理由 やめあて、集会当日までにできる取り 組みかどうかをたしかめる。 意見の多いものは決定するか、聞く。 <p>だれがどの役割をするか</p>	<p>決まったこと</p> <p>◎トランプ◎カルタ ◎読み聞か せ</p> <p>☆友達の意見の良さに気づくととも に、より良くしようと考えて意見 を出している。(思・判・実) [観察 法]</p>

<○成果と●課題>

事前活動

○計画委員と事前に議題について話し合うことで、提案理由やめあてにそった話し合いを進めることができた。

○事前に取り組みを出しておくことで、取組みの内容を理解することができた。

本時

○事前に取り組みを出すことで、時間短縮になった。

●賛成と反対意見を分けて出させたことで意見相互での高まりがあまり見られなかった。賛成反対を同時に言うことが大切である。

●取組みの数や期間を具体的示さず、話し合いの論点が定らず、話し合いが長引き時間通りに終わらなかったのも、具体的に示すことが大事である。

○取り上げられなかった意見に対する「ありがとうマーク」を提示することでひとり一人の意見を尊重できた。

○時計で時間を示すことにより、全員が時間を意識して取り組むことができた。

○反対意見に対して話し合ったことにより、内容が深まり、納得して取り組むことができた。

事後活動

○実践後児童たちの雨の日の過ごし方についてのアンケート

アンケート内容	はい	いいえ
雨の日の過ごし方の話し合いをして静かに過ごせましたか。	32人	2人
雨の日を静かに過ごすように意識するようになったか。	25人	9人
活動後、クラスの中は深まりましたか。	24人	10人

結果から子どもの教室で静かに過ごすことの意識は深まってきている。また、静かに過ごすためにレク係・劇係を中心にグループでどんなことをすればよいのかを考え行う場面が増えた。例…劇の発表、お笑いの発表、レク

●雨の日が少なく実際に活動できたグループが少なかった。

○自分たちでクラスの良いところや問題を探し出し、仲を深めようと取り組む子どもが増えた。

第5回学級活動 活動計画 平成24年9月27日(火) 5時間目		
議題	運動会、みんなの力を合わせよう。	
役割分担	司会() 副司会() 黒板記録() ノート記録() 提案者()	
提案理由	①小学校生活最後の運動会を楽しみたい。そのためにはみんなの力を合わせた方がいいと思ったから。②クラスを盛り上げる方法を考えることでクラスがまとまるとし、みんなの気持ちが盛り上がるから。	
話し合いのめあて	みんなで力を合わせて、運動会をがんばるために、残る2週間全員でクラスを盛り上げていく方法を考えよう。	
決まっていること	・10月1日(月)から10月13日(土)まで	
話し合いの順序	気を付けること	指導上の留意点 ◎評価(☆全員 ★計画委員)
1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 話し合いのめあて 6 決まっていること 7 話し合い ①やることは何か	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声ではっきりと言う。 自分のめあてを言って自己紹介をする。 大きな声でわかりやすく説明する。 思いがみんなに伝わるように発表する。 めあてを理解し、意欲をもって話し合いに参加させるようにする。 大きな声でわかりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全体の雰囲気を観察する。 ◎励ましの拍手をする。 ◎本時の話し合いに関わることを提案理由の補足として説明させる。 ◎掲示してある物を活用して確かめさせる。 ◎事前に学級会個人ノートに考えを記入し、発表への意欲を高めておく。 ◎☆仲間の意見と自分の考えを比べながら、発表している。 ◎☆決定に向けて意見を発表している。 ◎自分の考えを、根拠を示しながら話すことができる。
<p><決まったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレー練習 ・作戦会議 ・応援と歌練習 		

<p>② 約束を決めよう</p>		
<p><決まったこと> ・作戦会議 → 1人1つ作戦を考えてくる。・応援と歌→朝の会に練習する。 ・リレー → 週3回練習。バトンパスは必ず練習する。</p>		<p>◎★多くの友達が発表できるよう、指名の仕方を工夫しようとしている。</p>
<p>③ 役割分担は何か</p>		<p>◎★発表の内容を要領よくまとめ、カードを効果的に使用し記録することができる。</p>
<p><決まったこと> ・リレー係 ・作戦会議係 ・カレンダー係 ・かけ声係</p>		<p>◎★公平・公正な進行を考え、判断している。</p>
<p>8 決まったこと確認 9 話し合いの振り返り 10 先生の話 11 終わりの言葉</p>		 <p>○事後の活動に向けての意欲や態度を観察する。</p> <p>◎意欲をもって決まったことを実践しようとしている。</p> <p>○「①話し合い全体に関わること」「②実践に向けて」「③計画委員に関わること」の3点に触れる。</p>

<○成果と●課題>

【事前活動】

- 事前の活動として、学級会活動コーナーを充実させたことで、児童は話し合いに向けて事前の見通しを持つことができるようになった。
- 今後は、現在出ている意見を貼るだけでなく、それぞれの意見がどのような思いによって出された意見なのか等、イメージの共有をさせる指導が必要である。
- 提案理由を、ステップ1なぜその議題を提案するのか？ステップ2その議題はなぜ話し合うのか？ステップ
- 3みんなで決めたことを実行することでクラスはどうよくなっていくか？の段階を追って考えさせたことで、話し合いのねらいが明確になり、提案理由に沿って発言する子どもが増えた。

○学級会ノートの工夫・活用を図ることで、自信を持って発言できるようになった子どもが増えた。

●ノートの書き方については、子どもによって差がみられるため、個別の指導をしていきたい。

●学級会に向けての事前の準備に時間が多くかかるため、事前の活動の効率化と、教師の的確な指導が課題となる。

【事後活動】

○全員で練習し、本番の種目では全力を出し切ることができたことで、達成感や満足感を味わうことができた。

○役割分担をしたことで、子どもたち同士で声をかけ合いながら練習や作業を行うことができていた。

○全員でカレンダーを作成し、掲示したことで、練習の振り返りを行い、運動会に向けて意欲を高めることができた。

○自分で考えたり調べてきた作戦を持ち寄り、自分たちに合った作戦を熱心に話し合っていた。全員リレーや騎馬戦では、一生懸命応援し、声をかける子どもの姿が多く見られた。

●柱1のやることで決まったことが多く、全員で継続していくことが大変だった。話し合う前にあらかじめ取組むことの数を決めておくなど、指導法の工夫をしていきたい。

実践事例 ③ 平成 24 年 11 月 2 日 所沢市立牛沼小学校 6 年生学級活動 一水

昌比古

7回 学級会活動計画 11月2日金曜日6時間目					
議題	給食を作ってくれている人に感謝しよう			提案者	1班
提案理由	提案した理由は、ぼくたちが2年生から6年生まで、学校で給食を作ってもらっていて感謝したかったからです。それと、給食のことについて関心が深まれば、卒業まで給食を残さず楽しく食べられるからです。				
役割	司会		副司会		
	ノート記録		黒板記録		
めあて	みんながだいすきな給食を作っている人に感謝の気持ちが伝わるように考えて意見を出し合おう。				
決まっていること	2週間以内にできるもの 11月5日(月)から準備開始				
話し合いの順序	気を付けること		指導上の留意点 ◎評価		

<p>はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 話し合いの内容の確認 4 話し合いのめあて</p> <p>5 決まっていること</p> <p>6 先生の話 7 話し合い ①感謝の気持ちを伝えるには、何をするか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時刻に始める。 ・めあてを言い、自己紹介をする。 ・自分の気持ちが伝わるように発表する。 ・みんなに聞こえるよう、大きな声で言う。 ・決まりを守ってもらえるように、大きな声で言う。 ・静かに聞いてもらう。 ・クラスの全員に発表してもらう。 ・多数決をしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気話し合うために、元よく始められるよう助言する。 ・提案者の思いや願いが、学級全体の思いとなるよう助言する。 ・提案理由をまとめたものなのではっきりと読み意識付けを行う。 ・全員が共通理解できるように、司会者がはっきり発表できるようにする。 ・提案理由が話し合いの指針となるように意識付けを行う。 ・司会が困っているとき、話の方向がそれたり、より良い話し合いの方法を学ばせたりしたいときは、積極的に助言し、話し合いの進め方や司会の進め方を共通理解できるようにする。 ・自分なりに理由を付けて発言できるように助言する。 ・発言者が偏らないよう、できるだけ多くの児童が発言できるように司会者に助言する。 ・なかなか発言できない児童や、進んで参加できない児童には、個別に支援をする。 ・提案理由を意識した意見や、理由が明確な意見、建設的な意見を称賛する。 ・安易に多数決を採らず、一人一人の思いや願いを生かして決められるよう助言する。 ◎意欲的に自分の意見を発言しようとしている。(関心・意欲・態度)【発言・観察】 ◎提案理由をもとに自分の意見を考え発言している。(思考・判断・実践)【ノート・発言・観察】 ・みんなで決まったことを再確認できるように、大きな声で発表する。 ・自己評価をしっかりとるように、個人的によかったところを声掛けする。 ・提案理由を意識した発言等を称賛するとともに、前よりよくなったことを伝える。 ・計画委員の活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けての見通しを確認する。
<p>・手紙 ・パーティー ・作文 ・メッセージカード ・給食を食べる ・折り紙</p>		
<p>②どんな工夫をすれば喜んでもらえるか。</p>	<p>・給食を作っている人に喜んでもらう工夫をたくさん出して</p>	
<p>・ありがとうを伝える ・手紙に絵をかき ・テープを聞いてもらう ・直接伝える ・ワゴンに手紙を置く ・ドッキリ</p>		
<p>③役割分担</p>	<p>・時間内に終わらせる。 ・自分に合った役割に一人一人がな</p>	
<p>・表紙をかく人 ・手紙を渡す人 ・道具を作る人 ・表紙をかく人 ・手紙を渡す人 ・道具を作る人</p>		
<p>〈決まったこと〉 ・手紙 ・ありがとうを伝える ・直接伝える ・ドッキリ ・表紙をかく人 ・手紙を渡す人 ・道具を作る人</p>		
<p>8 決まったこと確かめ</p>		
<p>9 ふりかえり</p>		
<p>10 先生の話</p>		
<p>11 終わりの言葉</p>	<p>・決まったことが分かるよう、はっきり発表してもらう。 ・自分の事をふりかえり、友達のよい所も見つけてもらう。 ・しっかり聞く。 ・最後は元気な声で終わる。</p>	

<○成果と●課題>

- 話し合うことを①②③柱立することにより、子どもたちが今何を話し合っていて、次に何を決めればよいのか、見通しを立てられるようになった。
- 柱2を中心にするので、どうしたら喜んでもらえるのか、どんな工夫があるのか、活発な意見交換が図れた。
- 背面黒板に柱1の意見を貼り、学級会前に子どもたちに確認をさせたことでスムーズに学級会に入ることができた。
- アンケートをとることで、子どもたちの話し合いの必要感が目に見えて分かった。
- 話し合いがそれてしまったり、バラバラになったりしないために、話し合いの決まっ

ていることや、条件を

しっかり理解させることが重要であると感じた。

- 個別の支援をすることで、発表できる児童がいるので、状況を把握し、適宜声掛けをする必要がある。
- 板書を見やすくするための工夫が必要である。(量より質)
- 子どもの意見を整理する教師の助言が大切だと感じた。
- 実践後の感想(ありがとうカード等)など、ふりかえらせることの必要性を感じた。

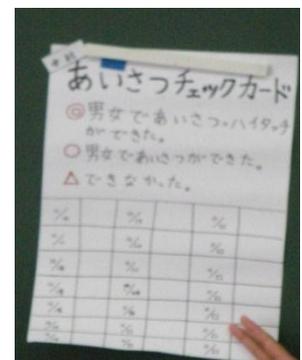
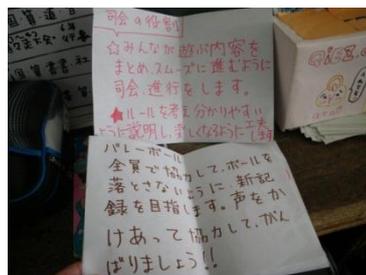
実践事例 ④ 平成24年11月20日 所沢市立若松小学校 6年生学級活動 岩 土 陽裕

第9回 学級会活動 11月20日			
議題	男女の交流を深めよう		
役割分担	司会		
	黒板		
	ノート		
提案理由の説明	<p>提案者 ○○君</p> <p>あまり男女で話をしないので、男子同士、女子同士をなくして男女で話すことによってコミュニケーションが高まると思います。この話し合いをすることでクラスの仲が深まって普段の生活からもっと協力し合って過ごすことができると思ったからです。</p>		
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・11月25日から1月終わりまでの期間 ・男女で仲良くなれるような取組 		
話し合いの順序	気をつけること	○指導上の留意点 ◎評価・観点	資料
1 始めの言葉	・大きな声で元気よく	○提案理由を全員が理解し、話し合いができるようにする。 ○「先生の話」の中で、議題提案の理由の確認と、それにそった話し合いができるように促す。	意見用の短冊用紙
2 司会グループの紹介	・一人一人に拍手をする		
3 議題の確かめ 4 提案理由の確かめ	・提案者は大きな声で提案理由を言う		
5 質問	・ノート記録より決まっていることを発表する。 ・意見に対してのわからない点や説明してほしい意見に限定する。	○すでに学級会ノートに自分の考えを書いており、黒板に意見を書いた短冊が張り出されているが、自分の考えを発表してから「賛成・反対」の意見へと進む	意見を書いた短冊(始まる前に黒
6 先生の話 7 話し合いの柱の確認			
8 決まっていることの確認	話し合いの柱		
9 話し合い	柱1 男女の交流を深める		

<ul style="list-style-type: none"> ・出し合う ・比べる ・まとめる <p>決まったこと ① スポーツ大会 ② 男女仲良くなるような遊び</p>	<p>ためにどんなことをするか</p>	<p>ようにする。</p> <p>○賛成・反対の意見については、提案理由にそって発言するように適宜指導する。</p>	<p>板に提示しておく)</p>
<p>決まったこと (代表的なもの)</p> <p>①スポーツ大会・・男女でチームをつくる。男女が協力できる競技 (バレーやリレー)</p> <p>②男女仲良くなる遊び・・男女でペアをつくる。遊びを3つ程度にしぼり、その遊びをローテーションで行う。</p>		<p>○多数の反対意見、賛成・反対意見のない意見については全員に確認した後、その意見を下げないようにする。</p> <p>◎意欲的に話合いに参加し、自分の意見を発表しようとしている。(発表)</p>	<p>学級会ノート</p>
<p>決まったこと (代表的なもの)</p> <p>①スポーツ大会・・司会、プログラム、用具、ルール説明 (1月29日に実施 1月に活動開始)</p> <p>②男女仲良くなる遊び・・ペア決め、日程表作成、用具</p> <p>③男女であいさつ・・チェックカード作成、ハイタッチのタイミングを考える。</p>		<p>◎相手の意見を聞き、学級のことを考え、よりよい意見にしようと考えている。(観察)</p> <p>◎自分の考えに理由をつけて発表している。(発表)</p>	
<p>1 0 決まったことの発表</p> <p>1 1 振り返り</p> <p>1 2 先生の話</p> <p>1 3 終わりの言葉</p>	<p>ことを発表する。</p> <p>・学級会ノートに今日の振り返りを記入する。</p> <p>・大きな声で元気よく</p>	<p>○提案理由にそって発言していた児童の紹介や話合いの中で良かった点や次の学級会への課題となる点を伝える。</p>	

<事後活動>

①役割分担ごとに分かれての活動、活動報告



柱3で決定した役割分担をもとにグループごとに集まり、取り組み方を話し合い、後日

報告会を開いた。報告会の中で「あいさつチェックカード」「レクで行う遊びについてのルール」などそれぞれの役割から様々な報告が上がった。それを全体で共有し、「みんなで決めたことだから必ず実行する」という確認のもと全員で取り組んでいくようにした。取り組んでいく中で「男女の仲を深めるために、全員でやる」という意識が芽生え、子ども自らが声をかけながら取り組んでいた。グループの中には「取組度」をパーセンテージで表し、意欲付けを図っているものもあった。

②週ごとに取組の振り返りをしていく。

第1週に取組を試してみたところ、あいさつについては男女でしている姿が見られたが、レクの時に他のクラスと遊んでいる子どもが数名おり、雰囲気としてはあまり良くなかった。第1週の最終日に振り返りをさせ、「自分が頑張ったこと」「第2週に向けて」と視点を与えた。内容としては、「男女の雰囲気が良くなった」「男女で話すことが増えた」などプラスの意見が多かった。今後は週ごとに振り返りをさせていき、グループでも振り返る時間をつくり、取組などについて改善点があるかどうか話し合わせていきたい。

<成果と課題>

今回の議題について、「男女仲良くすることで、卒業に向けてまた一段と協力して活動していきたい」という思いで話し合われた。実際の話し合いの場面では、子どもがきちんと提案理由をおさえて発言していた。また、相手の意見をよく聞き、それを認めながらも自分の意見を述べているところが見られた。司会グループの進行もスムーズであった。困ったときに司会グループ同士で助け合ったり、全員に発言させようと指名の工夫をしたりするなど頑張っていた。賛成意見や反対意見の場面では、意見が分かれそうなときに折衷案を出してきた子どもに対して「お～」「なるほど～」のような声上がり、学級全体で支持しようとする雰囲気があった。反対意見が出るばかりの中で「雰囲気良く話し合おう」と声をかけることで、「クラスをより高めていくために話し合っている」という意識を育てるという成果はあった。

課題は、今回の議題で「決まったこと」が多岐にわたり、今後の活動が多様化・複雑化してしまった。原因は、計画委員との話し合いの中で「決まっていること」を具体的に確認していなかったことである。

「教室内で」「朝の時間」「時期」など細かく条件を付けていくことで、子どもが絞って考えていけるような環境づくりが必要であった。また子どもが出し合った意見を分類し、子どもの思考を整理し、結果が視えるような板書計画が必要である。

<研究協議の内容 H24 11.20>

良い点

- 初め反対意見が多かったが、「雰囲気暗くない？」という教師の発問で流れがガラッと変わった。「これダメ、あれダメ」という指示よりよい。これにより賛成意見が増えている。
- 話が脱線した時の声掛け「反対意見ばかり、ダメなものからなくしていくのではなく」「提案理由はなんだっけ？」
- 意見をよく聞いている。「なるほど」「あ～」、自然に話し合う、「大縄は？」
- 司会者に黑板記録が助けている。計画委員の助け合いがある。
- 「～すれば提案理由につながる」「提案理由にあるように～」など提案理由にそっている児童がいた。

○賛成意見で「自然に声かけ・・・と言っていたがあいさつでもできる」など他の人の意見を聞いて反対していた。

○司会が全員に意見を言わせていたのでよい。 ○「男女で協力できるのは・・・」と意見を言える子たち。

○時期を考えて意見を言っている子たち「体育でバレーボールをやっているし・・・」

○黒板が見やすい、短冊が大きい

課題点

●議題「～を深めよう」ではなく、「～の計画を立てよう」

●出された意見をカテゴリー別に分類する必要がある。(短冊の色を変えるなど・・・)

●11月25日～1月終わりまで期間が長い。どうやって、いつやるのか？

●**決まっていること**をもっと具体的に。何がダメか、明示する。

●短冊の整理、配置の工夫(大きすぎるかも?)

●黒板はそのままにする。①短冊はとらない。②賛成・反対のマークも外さない。

●ノートはいつもみんな写しているのか？ノートに集中して意見を聞けてないところがある。

<協議内容>

・計画委員の中で決まっていることを先に決めて(条件を提示する)から柱立てをしていくと、その条件に合わせた考えを出し合うことができる。

・今回の「男女の仲を深めよう」でアンケートをとっていたが、はたしてそれが妥当であったのか・・・?

アンケートをとり学級の状況を知った上で、クラス独自で「みんなで協力する、あるいはクラスが助け合う、支え合う」ために何をしたいのか、みんなのできるものはどんなものだろうかなどを話し合っていくと良い。

・アンケート項目を絞り込む必要がある。(授業風景を見た感じ、男女の仲が決して悪いわけではなさそう・・・)

・「日常的にできること」と「日にちを決めてできること」を柱だての段階で提示し、子どもたちに意見を出させるとよい。

・時計を使って話し合いの時間を明示していくとよい。

実践事例 ⑤ 平成24年12月5日 所沢市立明峰小学校 6年生学級活動 玉置 明子

第9回 学級活動 活動計画 平成24年12月5日(水) 6時間目	
議 題	卒業文集クラスページ(表紙+5ページ)の具体的な内容を決めよう
役割分担	司会() ()黒板記録() ()ノート記録()
提案理由 提案者(文集委員)	6の3は個性がいっぱいのクラスです。卒業文集では、みんなの個性が出てみんながみんなを思い出せるような文集にしたいです。どの人も楽しめて6の3で良かったな、と思えるような文集を作りたいです。
話合いのめあて	6の3の個性が出る文集の内容を決めよう。
決まっていること	・12月20日までに仕上げる。・全員が書き、全員で分担する。
話合いの順序	計画委員として気を付けること ・指導上の留意点

		◎目指す児童の姿（評価の観点）【評価方法】
<p>1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 話合いのめあてと決まっていることの確認 6 話合い 話合うこと① 「6の3にぴったりのクラスページの内容を決めよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声ではっきりと言う。 自分のめあてを言い自己紹介する。 提案理由のポイントをわかりやすく伝えてもらう。 めあてを全員で読み、めあてに沿って話合いができるようにする。 3つの内容を決定して、第4、第5希望まで決める。スペースが余ったら入れる。第1～第3は絶対に入れるのでしっかり決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会の進め方をもとに、自分たちで協力して進行していくよう促す。 自分の役割に対して、めあてを発表し役割意識を高められるようにする。 提案理由やめあての発表の際、学級目標を確認させ、話合いが深まるようにする。 全員で改めて声に出して確認することで、めあてへの意識を高める。 決まっていることを確認することで、共通理解のもと、話合いが行なわれるようにする。 「今」「このメンバーで」「提案を実現させるために」、6年3組で「オリジナル」の内容を考えられるように助言する。 話合いの進め方や発言の仕方について助言する。 意見が出ない時は、話合いの流れや出ている意見を確認し、自分の考えと似ている意見に賛成意見や付け足ししながら発言できるように司会に助言する。
	<p>【決まったこと】プロフィール・ランキング(個人とクラス)・寄せ書き・(自慢)</p>	
<p>話合うこと② 「役割分担を決めよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内容ごとの担当などより文集がよくなる係を決めます。クラスが出来上がるまでに必要な係を決めて全員で分担します。 	
	<p>【決まったこと】文字チェック・イラスト・ページ整理・回収・内容ごとの係(ランキング,プロフィール,寄せ書き) ・文集委員は各係に一人ずつ入る。</p>	
<p>9 決まったことの発表 10 ふり返り 11 教師の話</p>		<ul style="list-style-type: none"> 学級会ノートにふり返りを書き、次回の学級会に生かせるようにする。 提案理由を意識した発言、めあてを実現させるための発言や態度について

<p>12 終わりの言葉</p>		<p>て称賛する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会の進め方についての助言をする。 ・実践に向けての取り組み方を説明し、意欲が高まるような助言をする。 ・計画グループへの称賛をする。
------------------	--	---

<○成果と●課題>

○学級会ノートから意見を事前に掲示し、内容について質問し、共通理解できるようにした。

○文集委員がクラスページのテーマについて提示し、本時に何を話し合うのか、提案理由に対する思いをしっかりと伝えた。

○文集ページの具体物を示したことにより、内容の数やスペースを確認し、イメージを共有化することができた。

○今回不採用になった内容について、終末の教師の助言の中で違う形での実現を子ども達

に伝えた。一人一人の意見を実現させていくことの大切さ、意見の重さを伝えた。

●話し合い②の時間配分が短く、司会の進行によりすぐに決まってしまった。子どもたちへの理解は十分だったか。

●役割分担では各係の仕事内容の確認が不十分であった。共通理解する時間の確保が課題である。

●『個性いっぱい』のクラスページを作る際には、話合う内容を「実現するための工夫」にすることも考えられた。

V まとめと課題

1 成果

(1) 事前の活動

- ・学級会コーナーの設置により、意見を掲示した。児童は話し合いに向けて事前の見通しを持つことができた。
- ・学級会ノートの工夫と充実を書かせることにより、事前に子ども達の考えを集約できた。
- ・提案理由にアンケート結果や提案者の思いを分かりやすく提示することにより、提案理由をもとにした話し合いが展開できた。
- ・計画委員との話し合いを充実すること(給食時間など)により、進行がスムーズになった。

(2) 本時(学級会)

- ・出された意見を短冊に書き掲示することにより、意見の集約や付け足しなど黒板でのまとめ方がやりやすい。
- ・イメージの共有化のために、具体物(カレンダー・日程予定表・文集ページなど)を示しより一層意見が出やすくなった。
- ・不採用になった意見には「ありがとう」カードを貼り、意見を出した子に感謝の気持ちを伝えるようにした。
- ・時刻を示した時計を黒板に貼り、時間配分が分かるようにした。
- ・話し合い①では「何にするか？」を決めるが、**比べ合う段階**から始めても良い場合があり、教師の指導助言が大切である。そのことにより話し合い②では「どんな工夫がよいか？」について話し合う時間が十分にとれた。
- ・賛成意見で決めるために、反対意見を言う際には賛成意見も言わせるようにした。消去法ではなく、提案理由に沿った意見を述べ合って決めていく。

(3) 事後の活動

- ・短冊に書かれた意見は、掲示しやすく事後活動で取り組む際にも掲示したものを見ながら活動できた。
- ・ふり返りをする事により、次への活動に対して意欲的になった児童が多い。
- ・全員で役割分担をしたことで、子どもたち同士で声をかけ合いながら活動することができた。

2 次年度に向けての課題

- (1) 学級全員による共通理解・共通目標(集団目標・集団決定)による活動の継続。

- (2) 学年に応じた発達段階を踏まえた学級活動の指導法の徹底。(学級目標を達成するために学級活動でどのような活動を展開していくのか、自治的活動への教師の理解)
- (3) 評価の仕方の工夫。(どの場面で見取っていくのか、教師の的確な判断が必要)
- (4) 子どもたちの良さを引き出すための学級活動の展開の仕方。